

業務用マグマ焼バーベキューグリル

CTR-4525BBQ

このたびは、シルクルーム マグマ焼きバーベキューグリルを、お買い上げ頂きましてありがとうございます。ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みください。よく理解した上で正しくお使い頂き、いつでも取り出せるところに、保管しておいてください。

目次

特に注意していただきたいこと	1～4
仕様	5～6
設置について	7～9
ご使用方法	9～10
日常の点検・お手入れ	11～12
故障・異常の見分け方と処置方法	12
長期間使用しない場合	13
アフターサービスについて	13

家庭用には使用しないでください

《ご使用のまえに》または《安全に正しくお使い頂くために》

製品を正しくお使い頂き、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う危険または火災の危険が切迫して生じる場合が想定されることを表しています。
 警告	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定されることを表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱をすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。



一般的な注意



火災注意



高温注意



火気禁止



一般的な禁止



触手禁止



必ず行う

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

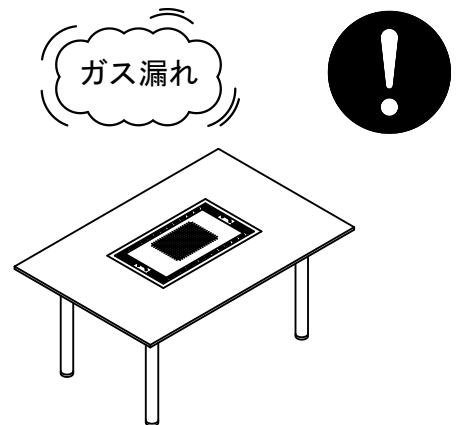
⚠ 危険

■ ガス漏れの処置

ガス漏れに気付いたときは①～③の処置が終わるまでの間、絶対に火をつけたり電気器具（換気扇その他）のスイッチの入・切や電源プラグの抜き差し及び周辺の電話を使用しない。

炎や火花で引火し爆発事故を起こすことがあります。

- ①すぐに使用をやめ、器具栓とガス栓を閉じて下さい。
- ②窓や戸を開け、ガスを外へ出して下さい。
- ③お買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。

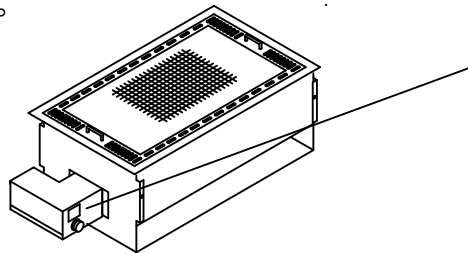


⚠ 警告

■ 使用ガス

必ず形式銘板（電池ケース上に貼付）に表示しているガス（ガスグループ）を使用する。

転居したときも、供給ガスの種類が銘板の表示と一致していることを必ず確認する。



例：都市ガス 13Aの場合

品番：CTR-4525BBQ
形式名：CTR-4525BBQ
都市ガス 12A, 13A用
ガス消費量 12A 6.10kW
13A 6.50kW
00.00-000000
山田金属工業株式会社
業 務 用

供給ガスと一致していない場合、そのまま使用すると不完全燃焼により一酸化炭素中毒になったり、爆発着火で火傷したりすることがあります。また、故障の原因にもなります。

供給ガスがわからない場合はお買い上げの販売店またはガス事業者に連絡して下さい。



■ 点火確認・消火確認

使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを確かめる。

使用後は消火と、操作ツマミが左（OFF）へ「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。火が立消えた状態で放置されると多量のガスがもれ、爆発の恐れがあります。



■ 日常の維持管理

日常の点検・お手入れを実施して火災予防上支障のない状態に維持管理することが、火災予防条例で求められています。

器具内部に油汚れが蓄積すると火災の原因となります。また、炎孔が詰まったり消耗したバーナは、未着火、立消えの原因となり、ガス漏れの危険が増します。

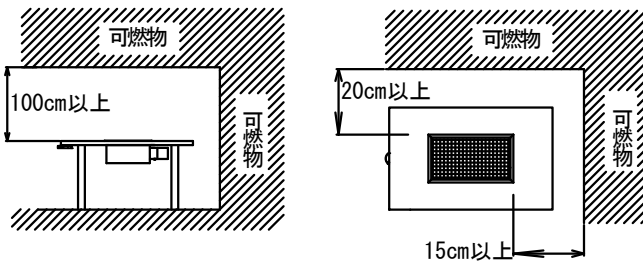


■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■ 設置について（火災予防）

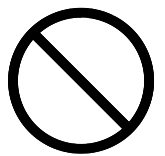
設置や移動の際、（家具や壁・棚など）可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。
火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。
また、可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接貼りつけた場合でも可燃物と同様の距離が必要です。
機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。（例えば、周囲を囲ったり、吊り戸棚をつける等）設置基準上問題となる場合があります、また不完全燃焼や、火災の原因になる場合があります。



換気口、吸気口は常に確保し、物などでふさがないで下さい。
不完全燃焼による一酸化炭素中毒の危険があります。

■ 火災予防

水槽が空焚きにならないよう、水量に注意して下さい。



空焚きになりますと、水槽に溜まった油に引火し危険です。

■ 火災注意

スプレー、ガソリン、ベンジンなど引火のおそれのあるものを近くで使用しない。
機器の周囲にスプレー缶を置かない。



熱でスプレー缶の圧力が上がり爆発のおそれがあります。

■ 換気に注意

窓を開けるか、換気扇を回すなどして必ず換気をしてください。



不完全燃焼による一酸化炭素中毒で死に至る危険があります。

■ 火災予防

火をつけたまま放置することは禁止します。



料理中のものが焦げたり、燃えたりして火災になる場合があります。

■ 火災予防

機器の上やまわりには、可燃性（カーテン、新聞紙、紙袋など）や引火性（エアゾール缶など）のものは置かない。



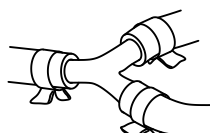
焦げたり、燃えたりして爆発や火災の原因となります。

■ 使用上の注意

ゴム管は、ガス用ゴム管（検査合格又はJISマークの入っているもの）を使用して下さい。
ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止で確実に止めてください。

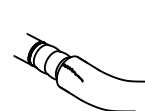


ゴム管の継ぎたいし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

ゴム管は、ときどき点検して取り替える。



古くなると、ひび割れや差し込み口がゆるくなってガス漏れの原因となります。

■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 警告

■ 使用上の注意

点火操作をしても点火しない場合は操作ツマミを左（OFF）いっぱいまで戻して、周囲のガスがなくなってから再度点火操作をする。



すぐに点火操作をすると周囲のガスに着火して、衣服に燃え移ったり、やけどをする恐れがあります。

■ 使用上の注意

お手入れする部品以外は、絶対に分解したり修理や改造は行わないでください。



一酸化炭素中毒などによる死亡事故のおそれがあります。
また、ガス漏れや火災の原因になります。

■ 使用上の注意

使用中に持ち運ばないでください。



火災注意

火がついたまま製品を動かさないでください。
転倒すると火災・やけどの原因になります。

■ 使用上の注意

不安定な場所や可燃物の上に設置しないでください。



火災の原因になります。

■ 異常時の処置

使用中に異常な燃焼・臭気・異常音が感じられたときや、地震・火災など緊急の場合は、あわてずにガスの器具栓及びガスの元栓を閉じて使用を中止する。

故障・異常の見分け方と処置方法（１２ページ）に従って下さい。

ガス栓を閉じる



■ 使用上の注意

子供だけで使わせたり、幼児の手の届くところで使わないでください。
やけどやけがをするおそれがあります。



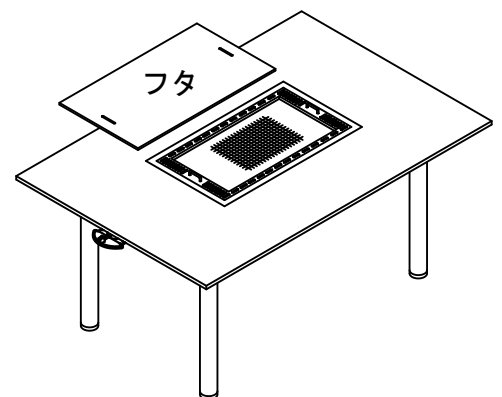
⚠ 注意

■ 使用上の注意

器具にフタをしたまま点火操作は行わないでください。
フタが過熱して火傷や、火災のおそれがあります。

クッキングテーブルでフタをご使用されている場合、
フタをした時は必ず元栓を閉じ、器具栓ツマミに容易に触れないようご注意ください。

ご使用の際は必ず、フタを取外し器具栓ツマミが「OFF」の位置であることを確認の上、元栓を開いてください。
使用後フタをする場合は、器具が冷めていることを確認してからフタをして下さい。



■ 使用上の注意

点火操作時や使用中はバーナ付近に顔を近づけ過ぎない。
使用中や使用直後は、高温部（焼アミ、コンロ、バーナ等）には触れない。
焼面から高温の排気熱が出ていますので顔や手を近づけない。

炎や熱及び機器本体とその周辺及び調理器具が熱くなります。やけどに注意して下さい。

特に小さい子供がいる場合ではやけどに注意して下さい。

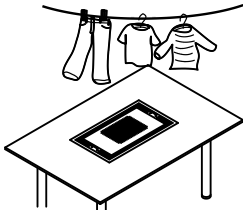


■ 特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください。）

⚠ 注意

■ 使用上の注意

調理専用器具ですので調理以外の用途には使用しない。衣類の乾燥などに使用しない。



過熱・異常燃焼による焼損や火災などの原因になります。

■ 使用上の注意

機器を覆ってしまうような鉄板・陶板などは絶対に使用しない。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。必ず専用焼きアミを使用して下さい。

■ 使用上の注意

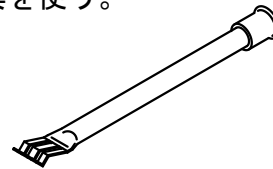
マグマ全体にタレや焼けカスが付着し炎が見えない状態で使用しないで下さい。



不完全燃焼や過熱による機器の焼損や火災などの危険があります。

■ 使用上の注意

焼きアミの取り扱いには別売の専用持上げ金具を使う。



ぬれぶきんなどで持つと、やけどをすることがあります。

■ 使用上の注意

車両・船舶での使用はしないでください。



使用中に機器が傾いたり、火災や火傷の原因になります。

■ 使用上の注意

点検・お手入れの際は必ず手袋をして行う。



手袋をしないでお手入れすると機器の突起物などでけがをする恐れがあります。

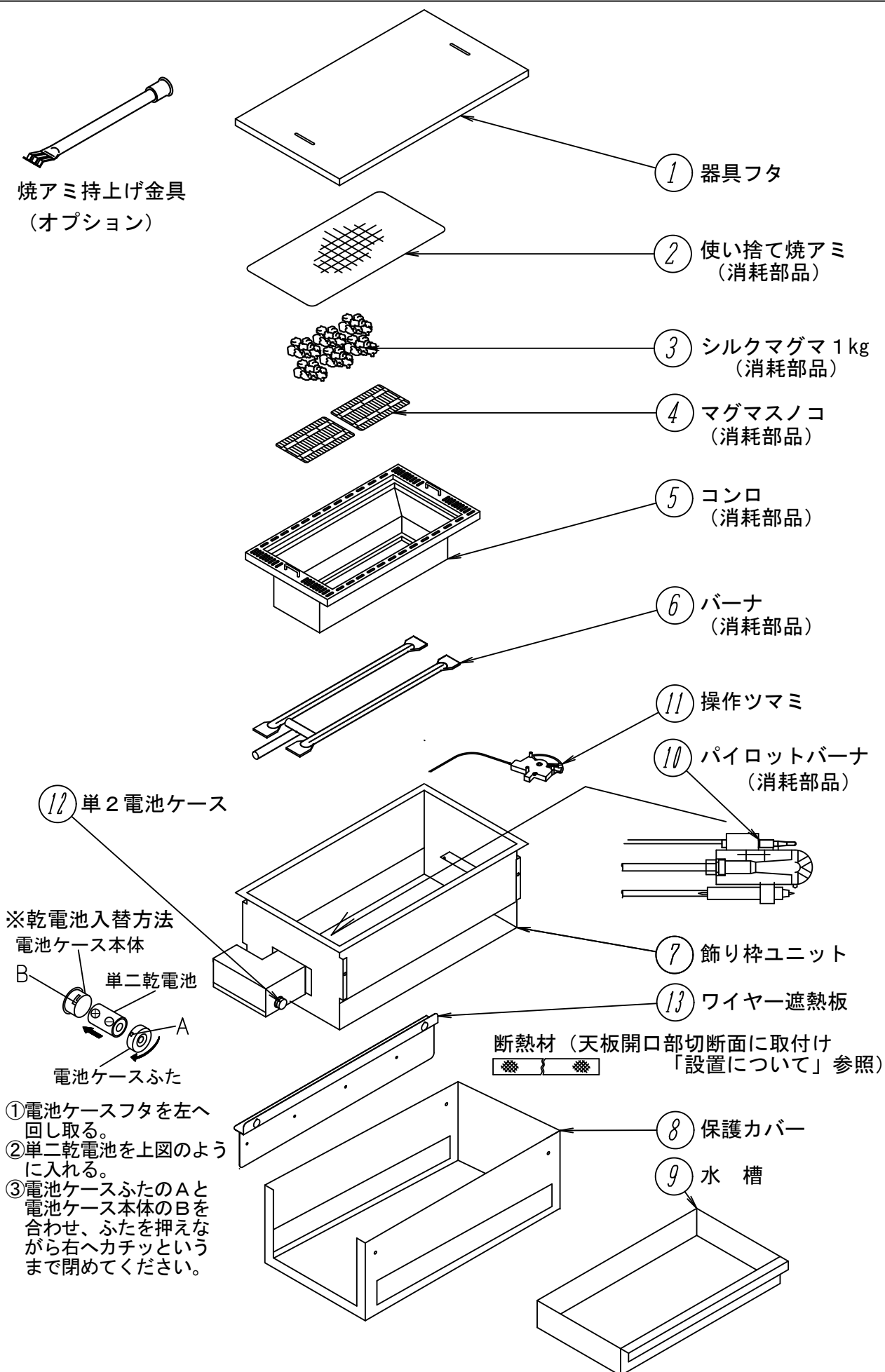
■ 使用上の注意

- ・補助具はこの調理器用の付属品以外は使用しないで下さい。
- ・焼きアミに焦げ付いた付着物が激しく燃え上がったときは、新しい焼きアミと交換して下さい。
- ・使用中、使用直後は焼きアミ・水槽・バーナ・コンロなどは高温になっておりますので手を触れないで下さい。
- ・この製品は業務用です。家庭用には使用しないで下さい。

お願い

- ・使用時の点火、使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを炎の状態を目でみて確認してください。
- ・使用後は消火と、操作ツマミが左（OFF）へ「カチッ」と音がするまで戻ったことを確かめ、ガスの元栓を必ず閉じて下さい。
火が立消えた状態で放置されると多量のガスが漏れ、爆発の恐れがあります。

■ 各部の名称と仕様



■ 仕 様

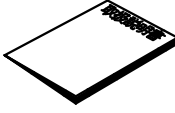
■ 付属品 1

No.	部 品 名 称	数 量	は た ら き
①	器具フタ	1	未使用時に使用する上面の器具フタ
②	使い捨て焼アミ	1	食材を置いて焼く調理面
③	シルクマグマ 1 kg	1	温度分布を良好にし、焼きムラを少なくする部品。
④	マグマスノコ	2	シルクマグマを受けるはしご状の部品。
⑤	コンロ	1	マグマスノコを受けシルクマグマを入れる部品
⑥	バーナ	1	ガスと空気を混合し安定した炎を出す部品
⑦	飾り枠ユニット	1	コンロ、水槽、バーナを受ける部品
⑧	保護カバー	1	本体からの熱を防ぐ部品
⑨	水 槽	1	水を入れて油や肉汁を受ける部品。
⑩	パイロットバーナ	1	立消え安全装置のセンサーを取付けてバーナに着火及び立消えを監視する部品
⑪	操作ツマミ	1	点火、消火及び火力調節用のツマミ
⑫	電池ケース	1	単 2 乾電池 1 個を入れる部品（方向注意、プラスが奥）
⑬	ワイヤー遮熱板	1	ガススマートコントローラーのワイヤーを熱から防ぐため

※消耗部品

焼きアミ・シルクマグマ・マグマスノコ・コンロ・バーナ・パイロットバーナ
サーモカップル・単 2 乾電池

■ 付属品 2

①取扱説明書（1冊） 	②単ニアルカリ乾電池（1個） 	③断熱材（1個） 	④ノブネジ M4×10（4個） 	⑤+ナベ3点式（ワッシャ付）M4×15（2個） 
⑥+木ネジ 3.8×4.5（3個） 	⑦+ナベパーチビス 3.5×15（3個） 	⑧ワイヤーサドル（A）（3個） 	⑨ワイヤーサドル（B）（4個） 	

■ 仕様表

記 載 事 項	記 載 内 容
製 品 名	マグマ焼バーベキューグリル
形 式 の 呼 び	CTR-4525BBQ
点 火 方 式	連続スパーク方式
空 気 調 節 器	可動式
質 量	約15kg
寸 法	幅740×奥行365×高さ230（mm）

使用ガス	1時間あたりのガス消費量	ガス接続
都市ガス 13A	6.50kW（5,590kcal/h）	9.5mmゴム管用 自在ホースエンド
都市ガス 12A	6.10kW（5,246kcal/h）	
LPガス	6.70kW（0.48kg/h）	

■ 設置について

■ 使用ガスを確認する

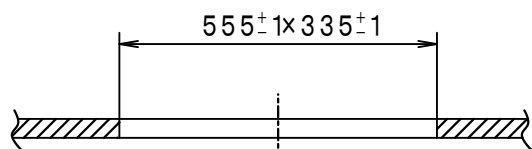
- ・ 機器本体に貼りつけている銘板に表示しているガス種と使用するガスが一致しているか確かめる

■ 設置前の準備

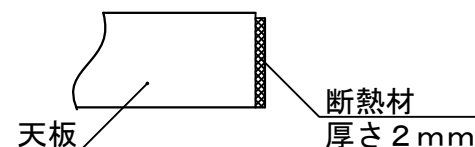
- ・ 機器をダンボールから取り出し、包装部品を全て取り除き、付属品を確認して下さい。

■ 機器の取付方法

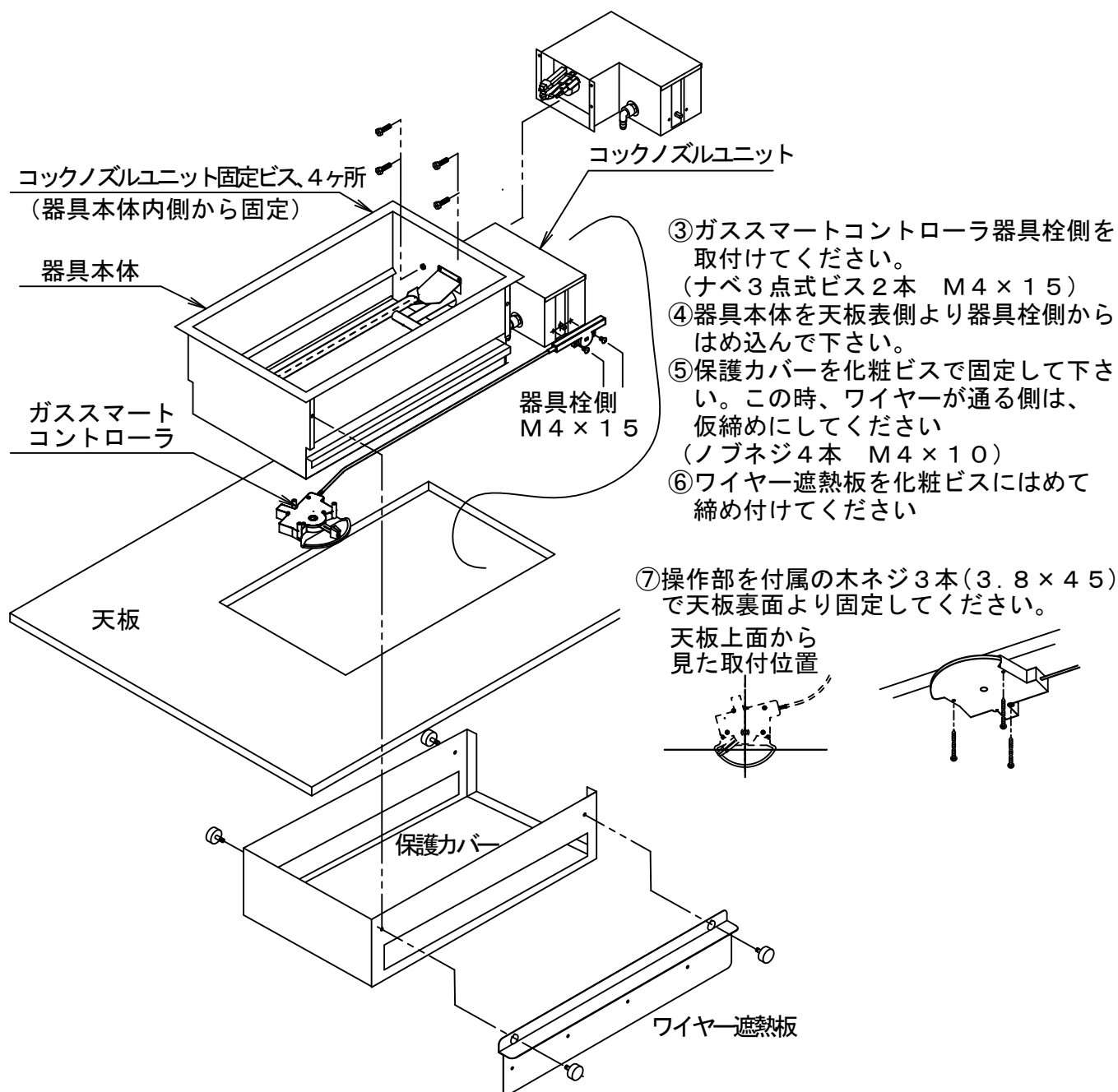
- ①天板（厚み20mm～40mm）に下記寸法の角穴をあけてください。



- ②断熱材をタッカで取付けてください。タッカの針の止めピッチは5cm程度を目安にしてください。



※そのまま天板にはめ込めない場合、天板厚が20mmを超える場合は、コックノズルユニットを外し本体を天板にはめてからコックノズルユニットを取付けてください。



■ 設置について

■ 機器の取付方法つづき

⑧ワイヤーは、ワイヤサドルと木ねじ等でワイヤーを固定してください。

- ・ワイヤーサドルBをワイヤー遮熱板に差し込んで（a：4ヶ所）ワイヤーをはめる。
- ・操作部付近のワイヤーを付属の木ネジとワイヤーサドルでテーブル裏面（b）に固定します。

※ワイヤーの固定は機器側面を通る部分でテーブル裏面に固定しないでください。

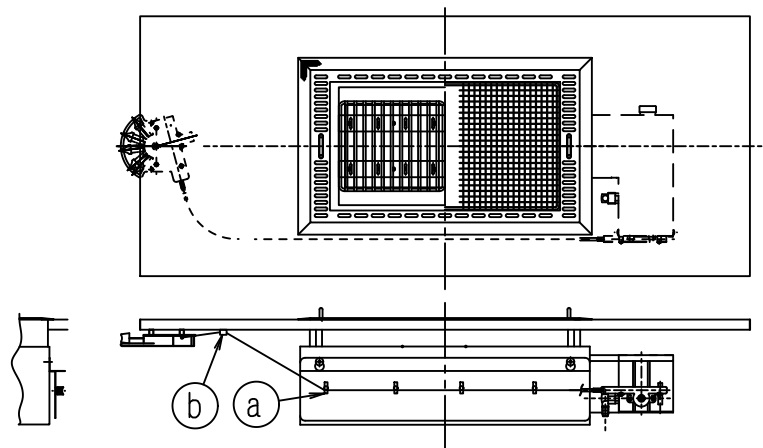
ワイヤーが機器本体に触れていると、器具栓つまミが動かない等の故障の原因となります。

（保護カバーに触れるのは良い）

※ワイヤーは出来るだけ大きく曲げてください。（内側の半径10cm以上）

※乾電池を入れて操作確認してください。

操作つまミをON位置で点火音「パチッ、パチッ」がすぐに切れたり、手を離してきれない場合、着火しない場合は、器具栓の軸に負荷がかかっています。ワイヤーの引き回しを見直し、器具栓側に取付けているコントローラの固定ネジをゆるめて締め直して下さい。



■ ガス接続

● ガス栓

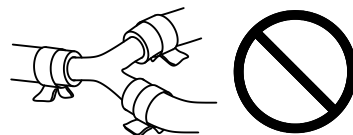
- ・機器を使用する場所に、専用のガス栓を設けてください

● ガス接続

- ・ガス接続口径はφ9.5mmのホースエンドになっています。
- ・ゴム管は折れたりねじれたりしないよう、できるだけ短く（2m以下で適当にゆとりをもたせる）また機器に触れたりしないようにしてお使いください。
- ・ヒューズコックをご使用の場合は、ガス種、ガス量に適したヒューズコックをお選びください。

ゴム管は、ガス用ゴム管（検査合格又はJISマークの入っているもの）を使用して下さい。ゴム管は、ゴム管口の赤線まで差し込みゴム管止で確実に止めてください。

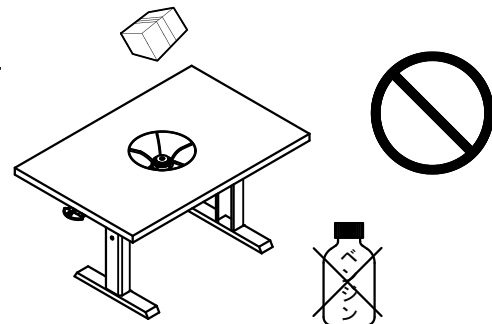
ゴム管の継ぎまし、及び二又分岐はしない。



ガス漏れや誤使用などで危険な場合があります。

■ 設置場所

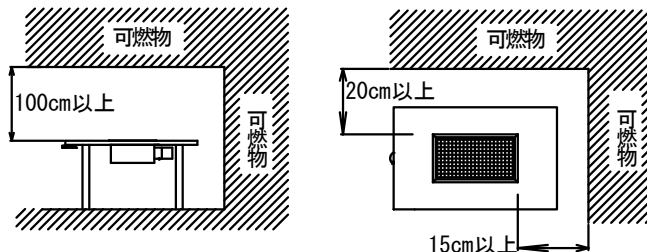
- ・安定性がよく水平なところに設置して下さい。
- ・棚の下など落下物のある所を避けて下さい。機器の上に落ちた物が燃えて火災になることがあります。
- ・樹脂製の照明器具の下でのご使用はお避け下さい。照明器具のかさ等が変形することがあります。
- ・カーテンやスプレー缶など燃えやすいものの近くでしようしないでください。近くの物が燃えて火災になることがあります。
- ・風の吹き込む所を避ける。風で吹き消されたりする場合があります。
- ・使用場所の換気口（給気口、排気口）は常に確保し、物などでふさがないでください。また使用中は換気をして下さい。しめきった場所で長時間使用すると空気中の酸素が減少し、不完全燃焼による一酸化中毒の危険があります。



■ 設置について

■ 可燃物との離隔距離

- ・設置や移動の際、(家具や壁・棚など)可燃性の部分から下図寸法を守って設置する。火災予防条例で定められています。必ず守ってください。距離が近いと火災の原因になります。
- ・また、可燃性の壁にステンレス鋼板などを直接貼りつけた場合でも可燃物と同様の距離が必要です
- ・機器を設置した後、機器の周囲の改造をしないでください。(例えば、周囲を囲ったり、吊り戸棚をつける等)設置基準上問題となる場合があります、また不完全燃焼や、火災の原因になる場合があります



■ ご使用方法

■ ご使用前の準備

- ・フタをしている場合はフタを取り外して、装着部品がもれなく確実に装着されていることの確認
- ・水槽に水を5リットル入れて下さい。
- ・シルクマグマをマグマスノコに均等に置いて下さい。
- ・機器および機器周辺に可燃物などがないかの確認
- ・ツマミが「OFF」の位置であることの確認
- ・ガスの元栓を開く



注意

器具にフタをしたまま、点火操作は行わないでください。
フタが過熱して火傷や、火災のおそれがあります。



シルクマグマを空焚きして下さい。「パチッ、パチッ」と、はねる場合があります。
約30分間加熱して、無音になったことを確認した後、使用して下さい。



注意

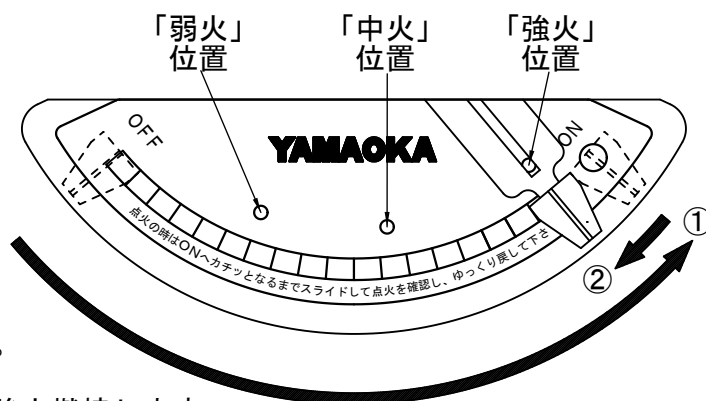
ガスの点火・消火は必ず、炎を目で見て確認して下さい。

【点火の方法】

- ① 点火は、ツマミを「OFF」から「ON」の方向へゆっくりいっぱいまで回すと「チッチッチ」という音とともに点火を開始します。

バーナに着火したことを、炎を目で見て確認してから、5～10秒後に手を離して、もう一度バーナに着火していることを、再確認してください。

- ② 手を離すと「強火」の位置で止まり、強火燃焼します。



【ご注意】

- はじめて点火するときは、ガス管内に空気が入って点火しにくいことがありますが、この場合、2・3回点火操作を繰り返していき、空気を抜き、OFFの位置に戻した後、しばらくしてから、再度点火操作を行って下さい。
- 点火の際や使用中に《ゴーゴー》音を立てて燃える現象が起きたときは一旦ツマミを「OFF」にして、しばらくしてから再点火してください。

■ ご使用方法

■ 操作の方法（つづき）

【火力調節の方法】

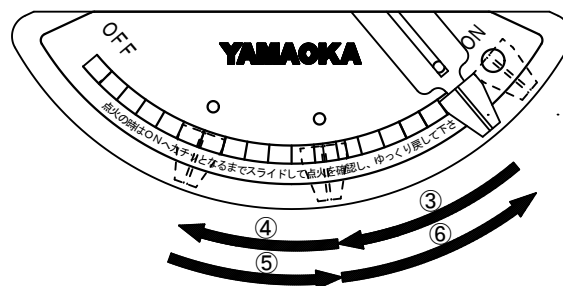
火力調節は3段階に調節できます。

一旦着火しますと、

- ③「強火」の位置から「中火」の位置に
 - ④「中火」の位置から「小火」の位置に
 - ⑤「小火」の位置から「中火」の位置に
 - ⑥「中火」の位置から「強火」の位置に
- 自由に調節して下さい。

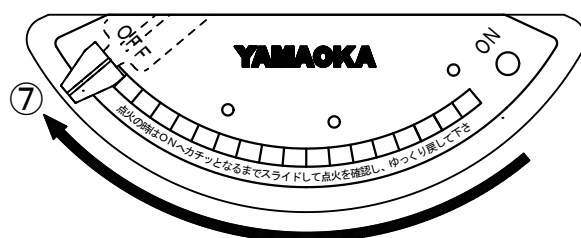
【ご注意】

- ツマミはゆっくり動かしてください。
速く動かすと火が消える場合があります。
- ○印の位置の節度以外でのご使用は、
行わないでください。特に「弱火」の節度以下にすると消火しますのでご注意ください。



【消火の方法】

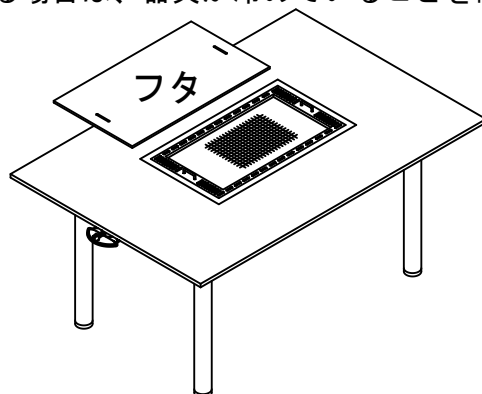
- ⑦ 消火は、器具栓ツマミを「OFF」の位置に動かし「カチッ」と音がするまで戻し、消火したことを、バーナを目で見て確認してください。



注意

器具にフタをしたまま、点火操作は行わないでください。
フタが過熱して火傷や、火災のおそれがあります。

- クッキングテーブルでフタをご使用されている場合、フタをした時は、必ず元栓を閉じ器具栓を容易に触れないようご注意ください。
- ご使用の際は必ず、フタを取り外したことを確認の上、元栓を開いてください。
- フタを使用している場合、フタの上に重い物を置いたり乗らないでください。フタの変形や器具が破損する場合があります。
- フタをしたまま、長期間ご使用にならない場合、時々フタを開けて、試験点火するなど器具の状態を確認して下さい。
- 使用後、フタをする場合は、器具が冷めていることを確認してからフタをしてください。



注意

機器ご使用時の点火・消火は、必ず炎を目で見て確認してください。また、正常燃焼していることを確認して下さい。

- 器具ご使用時の点火・ご使用後の消火のほか、使用中もときどき正常に燃焼していることを、炎の状態を目で見て確認してください。
- バーナに点火する時は、バーナに顔や手を近づけないでください。火傷をするなどのおそれがあります。
- 点火時は、おしぼりの袋や割り箸などをバーナの近くに置かないでください。
着火して火災のおそれがあります。

■ 日常の点検・お手入れ

機器の性能を維持し、衛生かつガス漏れによる事故や機器の故障、劣化などによる異常発生を未然に防止するため、日常点検および定期清掃は必ず行って下さい。

■ 点検・お手入れの際のご注意

- ・ 点検・お手入れの際には必ずガスの元栓を閉じ、機器が冷えてから行って下さい。
- ・ 日常の点検・お手入れは、必ず行って下さい。
- ・ 故障または破損したと思われるものは、使用しないで下さい。
- ・ 不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い上げになった販売店にご相談下さい。
- ・ お手入れの際には指先に十分注意して下さい。
- ・ 機器内部をお手入れする場合は手袋を着用し行って下さい。各部品の突起等に強く当たった場合、手を切ることがありますので注意して下さい。



警告

修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わないでください。
火災・ガス漏れの恐れや異常動作してケガをすることがあります。

■ 安全装置について

- ・ この機器には立消え安全装置が付いています。炎検出部（サーモカップル）がひどく汚れている場合、着火しにくい、使用中に火が消える等の症状がでることがあります。その場合はP 12 お手入れの項を参照して清掃して下さい。
※清掃は必ず機器が冷えた状態で行って下さい。
- ・ バーナをセットする場合、パイロットバーナ、炎検出部（サーモカップル）に当たないように気を付けて下さい。炎検出部（サーモカップル）の取り付け位置が変化して、着火しにくい、着火しないという症状がでる場合があります。

■ 点 検

- ・ ガス接続部からガス漏れがないか、ときどき石けん水などで点検して下さい。
- ・ 各部品とも正しくセットされていることを確かめて下さい。
- ・ バーナおよびその周辺に破損や不具合など異常がないか確かめて下さい。
- ・ 機器周辺に可燃物・障害物などがないか確認して下さい。
- ・ マグマは均等に置かれてあるか、タレや焼カスなどがマグマ全体を覆っていないか確認して下さい。

■ お手入れ

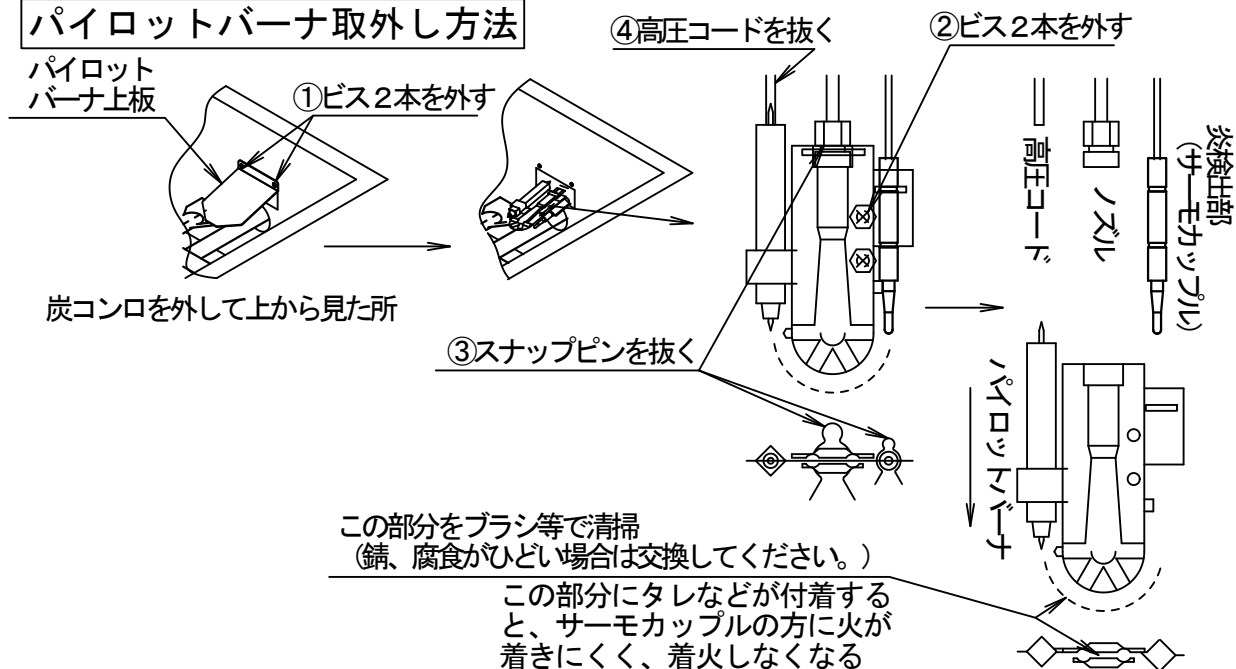
- ・ 水槽は、油汚れが多くなると不衛生になり、火災発生の原因にもなるので、お客様ごとに清掃して下さい。
- ・ バーナおよびその周辺の汚れは、不完全燃焼の原因になるので汚れたら清掃して下さい。
- ・ バーナは炎が不揃いになった時や汚れがひどい時に、金ブラシ等で清掃し、穴は針金等で清掃して下さい。
- ・ コンロは、汚れたり炭化物が付着したら、やわらかいブラシ等で清掃して下さい。油分が付着した場合は、中性洗剤をつけて水洗いし、すぐに乾燥させて下さい。
※付けおき洗いは絶対にしないで下さい。サビ発生の原因となります。
※黒く変色した場合取れないことがあります。
- ・ シルクマグマの汚れは、そのまま器具で強火で焼いて下さい。シルクマグマに落ちていた油や焼カスなどが、強い熱で焼却されます。
また、火を点けてシルクマグマのすき間から炎がほとんど見えない状態や、全体を覆う様なタレや焼カスがある場合は、一度マグマをかき回すなどしてシルクマグマ間同士にすき間を作ってから器具で強火で焼いて下さい。
※水洗いはしないで下さい。パチパチはねる原因になります。
- ・ 焼きアミは油が付着し炭化しますと、油煙の原因となりますので、お客様ごとに清掃又は交換して下さい。
- ・ 機器内部は、油や炭化物が付着すると取れにくくなりますので、手袋を着用して一日に一度布切れ等で清掃して下さい。

■ 故障・異常の見分け方と処置方法

■ お手入れ（つづき）

- ・ 炎検出部（サーモカップル）や点火プラグの先端がひどく汚れて着火ににくい場合は、先端を柔らかい布等で丁寧に拭き取して下さい。
- ・ パイロットバーナの炎が小さい時や、着火ににくい時は、パイロットバーナの先端の方から柔らかいブラシ等で清掃して下さい。

パイロットバーナ取外し方法



原因	現象										処置方法
	ガスの臭いがする	点火しない・ガスは出ない	着火しない・ガスは出る	着火・火移りしにくい	炎が黄色で燃える	炎が飛びように燃える	異常な音をたてて燃える	バックファイヤー	炎が異常に小さい	炎が異常に大きい	
ガスの接続が不完全	○										ガスの接続を確実にする
ガスの元栓の開きが不十分		○	○	○							ガスの元栓を全開にする
LPガスがなくなりかけている		○	○	○	○			○	○	○	新しいボンベと交換する
配管中に空気が残っている		○	○	○	○	○	○	○	○		点火操作を繰り返す
銘板表示のガスと使用ガスの不一致			○	○	○	○	○	○	○	○	ただちに使用をやめ、販売店に連絡し使用ガスに合った機器と交換
点火操作が適切でない		○	○								正しい点火操作を行う
操作ツマミの開き不足		○	○					○		○	操作ツマミを一度「OFF」に戻してから再び点火操作を行う
バーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	バーナの炎口を清掃する
バーナの取り付けが悪い		○	○	○	○	○	○		○	○	バーナを正しく取り付ける
パイロットバーナの炎口が詰まっている	○	○	○	○						○	パイロットバーナの炎口を清掃する 上記記載の安全装置の項参照
空焚きになり水槽に水がない										○	使用前には必ず水を入れる。使用中もときどき確認をし水を入れる
立消え安全装置			○	○						○	上記記載の安全装置の項参照

■ 長期間使用しない場合

- 長期間使用されない場合は各部を清掃し、ガスの元栓を閉じて保管して下さい。

■ アフターサービスについて

- サービス（点検・修理など）を依頼される前に

- ・ サービスを依頼する前に 12 ページの「故障・異常の見分け方と処置方法」の項でもう一度確認の上、それでも不具合な場合あるいはご不明な場合は、ご自分で修理をなさらないで買い上げの販売店にご連絡下さい。
- ・ アフターサービスをお申し付けのときは、次のことをお知らせ下さい。
 - ① 製品名・製品番号（銘板に表示のもの）・ガスの種類
 - ② 住所・氏名・電話番号・道順
 - ③ 現象（できるだけ詳しく）
 - ④ 製品購入日・訪問希望日

- 転居される場合

- ・ 転居によってガスの種類が変わる場合があります、その場合、工事や調整には専門の技術が必要になりますので必ずお買い上げの販売店またはもよりのガス事業者にご連絡下さい。また、このときに要する費用は有料です。

- 保証について

- ・ 「正常なご使用状態」において、しかも「製造上の責任」により発生した機器の故障にかぎり、お買い上げ日より「1 年無償修理」といたします。ただし次の場合は保証期間中でも「有償修理」といたします。
 - ① 誤った使い方をされたときの故障
 - ② 移動によって生じた損傷・故障
 - ③ 改造された場合の故障
 - ④ 天災による損傷・故障
- ※修理によって機能が維持できるときは、お客様のご希望により有料で修理いたします。

- 消耗品

- ・ 消耗品は、保証期間中でも有償となります。
※消耗部品：焼きアミ・シルクマグマ・マグマスノコ・コンロ・バーナ・パイロットバーナ
サーモカップル・単 2 乾電池

- 補修用性能部品の最低保有期間について

- ・ このガステーブルの補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後 5 年です。

- 連絡先

- ・ ガステーブルをお使いになった上で、なにか不審な点や不具合な点がございましたら、お買い求めになった販売店か当社へ連絡して下さい。

YAMAOKA

山岡金属工業株式会社

ISO14001:2004(本社)／ISO9001:2008認証取得

本 社／〒570-8585 大阪府守口市東郷通り2丁目7番30号
TEL.(06)6996-2351 FAX.(06)6997-3045
東京支店／〒101-0052 東京都千代田区神田小川町1-6-4 新福神ビル9階
TEL.(03)3255-6755 FAX.(03)3255-6722

URL <http://www.silkroom.co.jp> / E-mail info@silkroom.co.jp
夢工房「技術・文化館」「技術・開発館」を本社に併設しております。